

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の事業
変更許可申請に係るヒアリング（16）」
2. 日 時 : 令和5年12月22日（金）16時45分～17時20分
3. 場 所 : 原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
松本企画調査官、尾崎安全審査官、伊藤安全審査専門職、田口技術参
与
リサイクル燃料貯蔵株式会社
技術安全部長 他6名
5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場
合があります。
6. 提出資料
資料 コメント回答資料 NO.1220-02 改訂01

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁伊藤です。10、2月22日の
0:00:07	RFA許可申請に関するヒアリングを開始いたします。まず初めに、出席者の紹介をお願いいたします。RS物本社の方からお願いいたします。
0:00:19	はい。RFSむつ本社です。当社からの出席者ですけれども、シノダ技術安全部長高橋ちょうど保全武将
0:00:28	キヨウラ設計製造部長、その他44人の計7名での参加です。以上です。
0:00:38	規制庁伊藤です。了解いたしました。
0:00:41	規制庁側からの出席者ですが、マツモトオザキaタグチ等の4人になります。
0:00:55	じゃ、二見さんからですね。
0:00:59	いや、いや、全然わかんない
0:01:03	じゃ、
0:01:04	規制庁の井藤です。えーとですね、本日のヒアリングなんですけれども、本日送付いただいている字せず、説明資料についてご説明いただければと思っております。
0:01:22	はい。アーティスト六つ本社の高橋でございます。本日ご送付させていただきました資料につきましては、ちょっと
0:01:34	ご説明させていただきたいと思いますが、ちょっと資料としましては、表紙の管理ナンバーとしまして120-02の改訂01。
0:01:46	そしてご提示させていただいております。こちらにつきまして昨日、
0:01:51	ご提出しましたものに、それぞれコメントをいただいた内容についてちょっと補足を追記させていただいたものでございましたが、
0:02:02	今の方はすみませんが、お手元でございますし、ということであるということでもよろしかったでしょうか。
0:02:08	規制庁イトウ疇津あもうこちらの方に資料あります。
0:02:11	はい、ありがとうございます。
0:02:13	衛藤。
0:02:15	これにつきましてまずコメント一番についての回答の補足というのを3ページ目から入れております。こちらについてはコメント内容としまして、キャスクオンラインが変わると、天井面、
0:02:28	天井の梁で温度の上下関係大小関係が変わるということについての補足の説明を入れさせていただきました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:38	同じように4ページ目は今度ベップのコメントですね、天井梁の温度等発熱量との関係についてのお得について、入れさせていただいております。
0:02:49	まず天井と天井梁の温度の関係について、キャスクのタイプが変わると変わる理由につきましては、3ページ目に記載しております。
0:03:00	これ今までお示した解析結果に追加して、表の3のところでございますが、ケーススタディを行ったものを、ちょっと追加させていただきました。
0:03:12	投票見ていただいて4列、4行ありますけれども、一番上のBWR用大型キャスクのタイプ2級温度29.5、キャスクは天井に12.1、このケースは
0:03:24	衛藤。
0:03:25	すでにお示しさせていただいているもの、また一番下の段ですね、BWRキャスクタイプ1、こちらもしお示しさせていただいたものですこれに対して真ん中の二つが、ケース度ですね。
0:03:36	上の方が大型キャスクについて、救急温度が変わっているもの、下のPWRと同じように29.8にそろえたもの、また3番目については、
0:03:47	発熱量を大型キャスクと同じにしたタイプですね、こちらについて、天井面の温度と、天井梁の温度の最高温度ですね、ピーク温度をプロットしてます。
0:04:02	見ていただいた通りですね、大型キャスクの方は、天井の面の方が、温度が低くて、
0:04:12	PWRの方のキャスクは、発熱量が変わっても、天井梁の方が低いと、天井面の方が高いと。
0:04:22	当院キャスクから遠い天井面の方が高いと、そういうような関係になっております。
0:04:27	これについて表の下からちょっとなんでっていうお話をちょっと入れておまして、特に2段落目詰まりのところからになるんですけども、
0:04:40	こちらについてはですねちょっと
0:04:44	輻射の効果と、あと対流ですね空気の流れの効果の相乗効果についてちょっと説明を入れることとしました。
0:04:52	ちょっと
0:04:54	若干読み上げのようになってしまうんですけども、給気口から入った空気につきましては、キャスクレイズキャスクが並んでる列ですね、これを通過していくと、につれて、排気塔側に向かう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:08	呉と温度が上がっていくと、で、自然対流効果で天井の方に上っていくと。
0:05:14	その時にキャスク表面からの対流伝熱量が増えるような条件になると、排気塔側の方の空気温度がより上昇しやすくなりますよと、そういう関係がございます。
0:05:25	キャスクの種類によって、表面を
0:05:29	放射率が変わると、ここでは下下がるとですね、キャスクの発熱量のうち輻射伝熱によって建屋躯体各部に伝わるネジは下がりますと。
0:05:39	ということになります。それを補う形となりまして補うというのはですね、同じ発熱量を何とかして建屋の外に配置しなきゃならないので、
0:05:51	複写で伝わる量が減れば、対流で作業が増えると、そう、それをもってですね補うという表現にしておりますけども、補うために、滞留
0:06:01	熱によってキャスク周囲を流れる空気流ASR伝熱量が増えますと、
0:06:05	その結果排気塔側の空気温度が上がりやすくなるという関係性があるととらえております。
0:06:12	次の段落行きますしてまた、給気口から流入した空気流というのは、主に床面からキャスクの高さ程度まで、要は床に近いところ、
0:06:22	こちらを流れに行きますと、そのため、キャスク上部空間というのは、大きな空間があいているわけですけども、天井付近というのはキャスクの列の高さ位置の空気の流れに比べると、
0:06:33	流速というのはどうしても遅くなってしまうと。
0:06:36	そのため、天井面ですとか天井梁という上部にあるものの周りの空気流との間の伝熱というのは抑えられる傾向がありまして、天井面とか天井梁の表面、ちょっとすみません、権藤のオオノ時が抜けてましたけども温度が、
0:06:51	温度に対してはキャスクからの輻射伝熱。
0:06:54	除名が見えてますので、いや側面も、梁なんかだと側面がよく見えてるので、そちらへの輻射伝熱が比較して卓越するような形になるという関係性があるかと思えます。
0:07:06	このようなアノか、それぞれの関係性から考えますと、除名の複写の表面福恒設が小さいキャスクの場合はイトウ側の空気温度が上がりやすくなること。
0:07:18	からですね、BWR大型CHASTEの場合、に比べてBWRキャップはある。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:26	天井梁の温度のピーク1が排気塔側の方にシフトしていくという関係が後ろの方のコンター図で示すこ示されていると、そのような関係があります。
0:07:37	最後の結びのところですけどもこのようなキャスク表面の輻射率が、キャスクによって違うことによって、天井面と天井梁の温度分布が、
0:07:48	下変わってしまい、局所の最高温度の位置、ですとか値が変化したというふうに我々の方は考えております。これ今回ですねPWRキャス。
0:08:00	除名の輻射率が違うキャスクはPWRキャスクを使ってご説明させていただきましたが、同じように、BWR中型もこの蒸気に変えたような、
0:08:11	メカニズムで、説明できるんじゃないかなと考えてる。
0:08:14	それがまず1点目でございます。よろしければ、資料の説明を一通りさせていただいた方がよろしいでしょうか。
0:08:25	規制庁井藤です。そうですね一通り説明の方をお願いいたします。はい、ありがとうございます。それではページ数でいうと4ページ目ですね、キャスクの発熱、きや、天井梁の温度とキャスクの発熱量が、
0:08:39	発熱量が多いのに、天井梁の温度が低いという関係になってる逆相関となっていることについて、ちょっと説明を補強させていただきました。
0:08:49	天井梁面というのはキャスクの上面からの輻射を受けやすい配置にございます。で、
0:08:56	航空機流速が遅くなる、先ほどあったような天井面付近にあることから、空気流への放熱っていうのは行われにくい部位、
0:09:07	として考えております。そのため、キャスクの上面から受ける輻射熱の大小ですとか、ガスからの自然対流で上昇してくる、下からせり上がってくるような上昇流ですね。
0:09:19	この空気温度の影響を受けやすいものととらえております。下の方の表に、
0:09:26	またケーススタディーを追加した改正結果ちょっと入れてるんですけども、ここではちょっと先ほどの前のページの、
0:09:35	表2からですね、天井梁のところ特に包括して表にまとめております。
0:09:42	ここですねQ-29.8のキャスク発熱が12.1kWをプレートのこのバージョンですね、を使用して、ケーススタディーを追加したものをに入れてまとめておりますね。
0:09:58	まず、最後のところが考察でございますけども、キャンプ場名の表面放射率が小さい、このPWR用キャスクでキャスク発熱量が12.1キロと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:11	J3.9 に対して低くなった場合に、天井はイデの最高温度というのは救急温度が、
0:10:18	の上昇にもかかわらず、上昇というBWR気圧に比べて高いにもかかわらず、低下すると3度以上低下しておりますのでこれはキャスク常務輻射率の変化によって、
0:10:30	天井は裏面が受け取る輻射伝熱が減少したっていう効果が大きいと。
0:10:35	さらに、キャスクの発熱量を13.9にふやした場合でも、福士アノ表面の放射率が減少したことの効果をさらに上回って、BW大田キャスクの温度を超えないぐらいの、
0:10:47	結果となったことから、我々としてはこれが逆相関になって見える結果となったとらえてございます。
0:10:56	非常に雑駁なご説明で恐縮ですけども、まず、我々が昨日から本日にかけて、ちょっと回答の補足を追加させていただいた内容についてお話させていただきました。はい。
0:11:21	江藤。
0:11:24	衛藤。以上でございます。
0:11:30	RFSむつのタカハシですが、音声聞こえておりましたでしょうか。聞こえております。すみません。はい。
0:11:44	期、
0:11:45	規制庁のタグチですけど、
0:11:48	確かに二つこう分けると、
0:11:52	難しいなっていうのはありません。これ、どちらも同じ質問なので、
0:12:01	これを、
0:12:03	まとめると。
0:12:07	まずその100くうの、
0:12:11	解析モデルがちょっと違って、
0:12:17	何が違うかっていうと、
0:12:21	両面5出てあっちい。
0:12:24	から0.11にした。
0:12:26	モデル。
0:12:28	そうすると、
0:12:30	まず同じ発熱場であれば、
0:12:34	天井
0:12:36	それから、
0:12:37	針の輻射熱による、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:41	温度上昇っていう、
0:12:43	そこがこう低くなります。
0:12:47	一方ですわね、その天井が高くなる。
0:12:52	理由っていうのは、
0:12:54	発熱量が高いキャスクについて、
0:13:03	続いては高井チェックについて、
0:13:08	複写。
0:13:11	以外に、
0:13:12	滞留っていうのがあって、
0:13:16	薄謝。
0:13:19	の減少分がその滞留の方に、
0:13:22	移行すると。
0:13:26	天井の梁と天井、どちらに効いてくるかっていうと、
0:13:31	天井の方に効いてくると。
0:13:34	その辺のメカニズムっていうのが、
0:13:37	ちょっとわかりにくいなと思うんですわね。
0:13:42	先ほど
0:13:47	空気の、
0:13:48	流れによって、
0:13:55	空気の流れが減少し、線量が含まれる。
0:13:59	イコール、
0:14:01	あれにも影響が出る。
0:14:04	で、
0:14:05	ちょっとその辺をもう一度、
0:14:10	仮に影響は少ない。空。
0:14:13	現状に、
0:14:15	影響が多いっていう、そこをもう一度教えていただけますか。
0:14:21	はい。あれ数mソウノさん、高橋です。ありがとうございます。今いただいたような衛藤。
0:14:30	炎上等、天井面と天井梁、Eの温度の関係についてよりちょっと目明確なご説明が必要ということで、ちょっとすいません。今、私の中でも、ちょっと改めて、この資料にはちょっと直接は、
0:14:45	書ききれてなかったんですけどもちょっと考え方を考えたところをですわねちょっとご説明させていただきたいと思いますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:55	ただいま田口様からあったようにですね、上面の輻射率の変化によってですね、輻射熱の、まず
0:15:07	伝わり方が変わりますと、これを補う形で対流の効果がまた変化すると、その変化の仕方というのは、上面のこの前、
0:15:18	キャスクの上限ですね、こちらの輻射率が下がってますので、ここからの伝熱量をとにかく保管するために、キャスクの、その上面から、
0:15:29	天井に向かう空気流のところの対流熱伝達が促進されます。そうすると、天井に到達する、空気によって、天井との間でまた今度は、
0:15:42	その間で、対流が、対流ですとか電動なんかが起こるわけですけども、これによる天井の冷却が、抑えられるので天井温度が、輻射によって温められた分がそのまま高いまま残ると。
0:15:57	上限が、
0:15:59	副社長低い方が、むしろ滞留が促進されて、上面の直上ですね、天井の温度が高めになると。一方で側面は相変わらず輻射率前と変わらずなので、
0:16:12	こちらはこちらでずっと今まで通りですね、側面からの空気が上に上がってって、
0:16:18	張りとの間でまた連立があるんだけどこれ変わらないので、先ほどあった上面の輻射熱の変化による直上への空気の
0:16:29	前列分がの上昇が上回ってなので、この
0:16:36	上面が
0:16:38	の輻射率が低いキャスクは、天井の方がより温度が高くなるというふうになって現れたと、そのような説明の仕方ができるんじゃないかなと改めて考えた次第ですが、
0:16:51	このような考え方はいかがでしたでしょうか。
0:16:58	そうですね。規制庁の丹タグチ、はい。今伺ったように、そのギャップの周囲の空気が暖められて、キャスクの上部に、
0:17:11	行って、そこで天井を温めると。
0:17:15	しかしながら、その梁ってというのは直上ではなくてちょっと離れているので、はい。暖かい空気が行きにくいと。
0:17:28	天井の方が高くなる傾向にあったと、そんなことでいかがでしょうか。
0:17:34	そうですね。資料作った時からちょっと考え方さらに進展させていただいて、今のあのよう理解に至った次第で、田口様が今おっしゃった理解と同じでございます。
0:17:47	で、ちょっとここからはですね、もう少し、こんな考え方もあるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:54	例えば
0:17:55	その上面だけで、11にしたモデルを見ると、
0:18:02	キャスクの上ってというのは、あつためられない空気。
0:18:08	ていうのは乗かってて、
0:18:10	それによって、
0:18:15	滞留といいますか。
0:18:17	その冷たい空気の、
0:18:20	ものがあるので、
0:18:23	その
0:18:26	あまりこう、
0:18:28	なんていうんすかね。
0:18:30	それが邪魔してっていいですか。
0:18:35	な。
0:18:36	ありとか、
0:18:37	それから天井を低くしてるんじゃないかっていうような考えとか、
0:18:45	一律 0.8 だと。
0:18:48	キャスクの上部にあつたかい
0:18:50	機能層があつて、
0:18:53	それが、
0:18:55	全体的に、
0:18:58	やはり現状、
0:19:01	2、
0:19:01	影響与えてるんじゃないか、そこは、
0:19:04	どうでしょう、あんまり。
0:19:06	よくないですかね。考えとしては、
0:19:10	あ、すみませんあるベースタカハシでございます。あれ、私どもの方としましてはむしろですね、このキャスクの直上と梁の関係でいうと、直上に向かってか、むしろ
0:19:24	あつたみたいですね、草率が変わってですね、そうすると越冬隊ルーで補わなきゃいけなくなりますので、割と高目のですね、上限温度なんかが高目になって、
0:19:38	滞留って温度差で、その空気に伝えるので、むしろ電熱量を増やそうと思うと、自然とそこの表面温度が上がってる傾向があります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:49	なので上下温度自体は高まるんですけどもそうすると何回、梁はじゃあ何で上がらないかっていうと、梁というのは上面から見ると斜め上方向なわけですね。
0:20:00	なので見え方っていうのは小さいです。だから、どちらかという側面からの対流の影響なんかが、むしろ、それに向かって、上がっていきますので、だから天井の真上、
0:20:13	表面の植野に向かう空気というのは、割と高目の、
0:20:17	ものが、空気が浮かんでいって、一方で、ある意味、行く方は、側面から上がっていくのであまり、今のネットバランス変わらないものが上がっていくとそういうような理解をしているんですがそこはいかがでしょうか。
0:20:30	うん。規制庁、北見ちゃん、嘘。そうですね。
0:20:37	そう。
0:20:39	一番大きいのはやっぱり
0:20:41	脚の上部、
0:20:44	脳熱が、
0:20:47	天井とか天井の梁に行きにくくなってるので、
0:20:52	100円、
0:20:53	上部っていうのは、暑い状態になってる。
0:20:57	はい。それを冷やすために、
0:21:03	キャスクの側面とかが頑張ってる除熱を行い、
0:21:09	越冬し、
0:21:10	いや、
0:21:11	解析するとその、
0:21:13	連帯なので上に行く性質があって、天井により集中する。
0:21:19	そこまでは理解しました。
0:21:22	で、
0:21:23	次は
0:21:24	ここに書いてあるように、
0:21:28	全体的に前方だけでなく、奥もですね、
0:21:35	天井が、
0:21:36	温められた状態なので、
0:21:40	よりその流速が、
0:21:42	減って、
0:21:43	前年、前年というか、急遽、給気口側も、排気コガも高めに出ていると。
0:21:51	そんなことがわかるってことですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:57	改めていいでしょうか。はい。読み取れておりますはい。はい。
0:22:03	私からは、大体それです。はい。はい。
0:22:12	すいませんオザキですがちょっと私はよく理解できてなくて今の高橋さんの説明だと3ページ目の話は、表面放射率が小さくなることによって、キャスクから直接上に向かうその滞留が、
0:22:28	増えることで不等号の、
0:22:32	関係でいうと、梁ではなくてより天井が、
0:22:36	暖かくなる傾向があるっていうそういう説明でよろしかったんですかね。
0:22:42	あれジェームズ本社タカハシです体験によって、直上が、私、バッテリーの温度が下がらないので、またオギなるということですね。はい。その通りだと思う。そんな風景でいうと4ページ目の、その梁。
0:22:57	関係、放射率と梁の関係はすいませんまだ十分読み込めてないんですが、ここはどう、どういう。
0:23:04	その滞留の流れとかになるんですか。今、職長ではなくて斜め上なんですかね。はい。これはだから、やはりはりと橋野間といいますか、1杯100区間であり、
0:23:17	の温度がどう変わるかなので、天井の前の話はここには出てこないというのには出てこないといいでしょうか。うん。またベップで、ここに書いたみたいに、今度は今度
0:23:29	衛藤。
0:23:30	江藤アノそ針だけ見ると今度はこの輻射率の影響がこの発熱量の影響の効果を上回って、逆転したまま、バランスしてると、そういう関係にあるというのをご説明しているものですね。はい。
0:23:48	なるほど。だからここは一体化するのはその発熱量よりもその放射率がより大きく影響しているっていうことです。天井梁だけ見たときにはってことですね。
0:24:02	そういうご理解いただけたらと思いましたが、はい。
0:24:13	あれ、規制庁ノザキ1関係としてだから、キャスクの斜め上ぐらいに梁があるっていう。そうですね。そうです。そう。
0:24:25	衛藤。
0:24:27	昨日ですね、小栗イシイ資料、②番でもいいんですが①番の方にどちらかというアノ長官の呉ですね3次元の
0:24:38	総額ですとか、天井から見たときのキャスク等ですとか梁がどう見えるかについては、0一番の方の資料の方にはちょっと参考に付けさせていただきましたので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:54	こちらの方の増見ズ一何枚か見ていただくと、キャスクと江藤天井梁と天井の位置関係の見え方が、少しご理解が進んでいただけるんじゃないかなというふうに、
0:25:08	だと思います。はい。
0:25:10	わかりました。ありがとうございます。
0:25:13	或いは客から見て斜め上方向になるというのが、見ていただけるんじゃないかなと思います。はい。
0:25:22	機器規制庁の丹タグチです。ちょっとこの時間利用して境界条件をちょっと確認したいんですけど。
0:25:32	はいどうぞ。
0:25:33	まず今、1列、6基掛ける2で解析をしてるんですけど、考え方としては、
0:25:43	さらにばいいのですね。
0:25:46	6×4
0:25:48	の閉じた空間があって、
0:25:52	それで
0:25:53	有井を見ると、
0:25:57	か。
0:26:01	両方からのキャスクの輻射によって温められると、そういう形だと思うんですね。
0:26:09	はい。それ今6×2で
0:26:15	切ってる狩野田井式のない方の、
0:26:22	はい。
0:26:23	条件としては行った。
0:26:27	熱量が、
0:26:28	この協会で反射して、
0:26:31	帰ってくる。
0:26:33	そういう形でまずいいんでしょうか。
0:26:36	はい。アレス本社タカハシですが、そちらについてはですねと、先ほど申しましたちょっと0一番の資料もお手元にあるとよろしいんですが、
0:26:47	いかがでしょうかね。出る強い改定があって、今感じる0以上で結構です。
0:26:54	それの方の、2枚目と申しましょうか2ページ目の第1図ですね。
0:27:00	こちらで客3次元流動解析の評価領域及び評価モデルと書いてある。
0:27:06	客が丸丸井キャスクが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:10	上面が見えてるキャスクが 12 個並んでるや、
0:27:13	図ですね。
0:27:14	こちらあります。見てますんで、破断位置除熱っていうのはこの業界でまた戻ってくると。
0:27:25	ということがですね、
0:27:28	モデルとしては大のモデルだけど、
0:27:34	何て言うんですかね。
0:27:35	やっぱ向こう側にもキャスクが並んでるとしてやってるか、どっちか。
0:27:41	ありがとうございます。この図ですね、見ていただくと、
0:27:48	図の上面上部側の方って、壁が、側面側壁が描かれていて、
0:27:57	下がワーですね、こちらの白い白地にこう書いてあってここ空間です。これの鏡対象のものが隣に並んでます。うん。
0:28:09	その境界のところ一点鎖線がこう入ってると思うんですね。そうした面と運営面の両方に
0:28:16	側壁がある、ないと、側壁がないそれぞれ一点鎖線があるのがありますがこれがそれぞれた、いわゆる解析の対象面ですね。
0:28:25	反対側に同じものがあって、はね返ってくると、熱がはね返ってくると、そういう境界条件を設定しております。
0:28:33	ただ、本当にアノはイトウ側の方の右側の方の一点鎖線があるのは、これ、場合の今度左右で今度逆側の方も、
0:28:41	センタータワーを通して、反対側にもありますので、こちらも同じように対称面ですね。
0:28:46	そういう設定をしております。はい。規制庁、田口ですありがとうございます。それから天井と床ですね。
0:28:54	で、
0:28:55	定量については、現状のコンクリートから、
0:29:01	これに断熱ではなくて、ある程度、コンクリート上面から、
0:29:07	タテ側に逃がすという設定でしたでしょうか。
0:29:12	こちらについてはですね昨日のコメント回答資料にはおつけしてないんですが、もし差し支えなければ、
0:29:19	今手元にお手元にあるなり、何かあるならば一番いいんですが、第 6 条の適合性説明資料の中にあるですね、図で、同じようにご説明しております。
0:29:31	ズバーンちょっと言っとくとですね第 7 図というのが、行政説明資料の第 6 条のところについておりまして、3 次元熱流動解析の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:41	評価領域及び超過モデルの今度アノ果断面で、先ほどの横断面だとすると今度縦断面ですね、で切ったものがありましてこちらを見ていただくと、天井面につきましては、
0:29:53	2人、断面をモデル化してまして、その外側については、グルートコウオオキアノ外気との境界については全部断熱条件にしております。
0:30:07	これだから、外気の方へ逃げないよう、内側に熱がこもるように設定していると、そういう条件です。ちなみに
0:30:17	地面側ですね、9床、床からある一定範囲のコンクリートの厚さの躯体をまずモデル化したと。その下については、一定の設置運動、要は今12度としておりますが、これがずっと維持されると、地面の温度は、安定してるので、
0:30:33	低温っていう状態条件を入れると、一方で天井の外側ですとか壁の外側ですとかは、断熱にすることで熱を逆には反射させるとか、熱が流さないような、
0:30:44	そういう設定にすることで、我々安全評価として、させていただいてると、そういう条件でございます。はい。規制庁、田口です。ありがとうございます特に天井については、保守的な評価をしているということがわかりました。
0:31:02	ありがとうございます。松本です。すいません。今更ですけれども、この12度の設定根拠って何かあるんでしょう。
0:31:11	はい。衛藤。少々お待ちください。すいません。
0:31:38	説明したあれですね宇津本社の高橋でございます。これもですねすいません、本日ちょっとお送りしてないんですが適合性説明資料、
0:31:48	第6条ですね、こちらのページ番号だけをまずちょっとお伝えさせていただきませんが六条加古タテナー5ページ、小チラー、評価条件の説明をずっとしてるところなんです、
0:32:03	3次元熱流動解析の条件の説明の中で、その5ページ目の、
0:32:09	上からポチポチと箇条書きしてあって最後にですね、ちょっと読み上げさせていただきますと、使用済み燃料貯蔵建屋基礎スラブ下端の温度は12℃ですと。
0:32:21	これは、施設建設地点での地表マイナス2.83メートルにおける、2006年6月から9月、3、4ヶ月間ですか、の、
0:32:33	マイセージ温度データの最大値、
0:32:35	そして設定してそれが一定であるという設定のご説明を入れさせていただいてございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:46	ありがとうございます。
0:33:17	4月規制庁ノザキですが何か今、そちらのワタナベさんからタグチの方に電話がかかってきて、ちょっと資料確認をしてるちょっとお時間いただけますか。
0:33:29	ルソン者です。承知いたしました。
0:37:03	規制庁伊藤です。規制庁側から聞きたいことは、もうこれでおしまいですので、あれ須川からは、何かありますでしょうか。
0:37:14	アベシミズホンダでございます。特にございません。
0:37:18	規制庁伊藤です。了解いたしました。それでは本日のヒアリングはこれで終了いたします。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。